

幹事会報告

平成16年度 関東同窓会総会開催他 今年度運営方針を協議

幹事長 用正 靖彦 (昭30年卒)



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第27号

発行者・会長 佐藤映之
編集者・委員長 佐藤毅士
発行所・関東同窓会事務局
〒248-0025 神奈川県鎌倉市
七里ガ浜東 2-37-6
電話 0467-31-5715
FAX 0467-31-5715

印刷・佐伯印刷株式会社

●春の幹事会 協議事項

平成十六年三月二十六日(金)に神田の学士会館において、会長以下役員及び学年幹事三十五名の出席を得て、春の定例幹事会が開催された。冒頭、佐藤会長より母校本部同窓

会に出席された報告が行われた。

本部同窓会は平成十五年十一月十六日(日)に竹田市のホテル岩城屋にて、急逝された土居平治同窓会長の後任は未定のまま役員の方が代行して開催。出席者数は八〇名程で盛大に行われた。

渡部現校長(母校昭和四十一年卒)が挨拶の中で、昨年六月の関東同窓会に出席したが首都圏の中で竹田高校が二〇〇名以上の同窓生を集めて毎年総会・懇親会を開催していることはすばらしいことと、竹田高校のパワーを感じたと話された。

続いて、本日のメインテーマである第十八回総会・懇親会について、当番幹事に対し積極的に取り組んで頂き感謝している。本番に向けての準備会なのでよろしくご検討頂きたい。更に、今後の運営にあたっては、高齢者、若年層、女性会員の方々が出席しやすい環境作りに努力してほしい。年々歳々改善を加えて更なる充実を図って頂きたいと挨拶された。

引き続き個別議事に移った。

(一)総会・懇親会について

企画委員長及び当番幹事(三十八年卒・四十八年卒)より準備状況の説明が行われた。企画立案にあたっては、(1)多くの出席があること、(2)交流が盛んになること、(3)楽しんでいただくこと、この三点を念頭に置いて企画して来たと発言。

アトラクションは竹田高校を昭和五十五年卒業、現在名古屋地区を中心に活躍中のソプラノ歌手西みほさんの歌を楽しんで頂きます。(プロフィールは別記参照願います)

更に交流をサポートするインフォメーションコーナーを設置、話題の提供と出席者を探しやすいとする仕組みのこと。具体的には、出席者の学年、出身地、クラブ、趣味の情報、欠席者からの便り、母校や故郷の現況、その他同窓生に関係する情報を掲示。同学年(ヨコ)の交流が図られるように工夫。

会員の皆様、総会・懇親会の出席連絡ハガキに情報を入力して投函されるようご協力をお願いします。その他料理、飲物、物産販売、予算等の説明の後、アトラクションはどの時間帯に入れるか等々熱心な質疑応答とアドバイスが行われた。

(二)維持会員の状況について
平成十六年一月三十一日現在維持会員数は四二五名(口数四七二口)で前年の四月一日現在に比して二八名(二九口)の増加。これは二十八人卒六名、当番幹事(三十七年卒、四十七年卒)九名の新規加入が大きく寄与しております。又維持会費の未納状況は一月三十一日現在一〇七名(金額で八七万円)で前年に比して若干悪化しております。ご承知のことと存じますが、総会・懇親会時の会費は当日の会場費、宴会費に充

当されておりますので、広報紙「臥牛」の発行やその他通信費等の経費は維持会費で賄われております。どうぞ維持会費制度をご理解頂き、維持会員の増加拡充と維持会費未納の撲滅を切に願います。
(三)各委員会よりの連絡
(1)総務委員会
平成十五年度の収支状況については、期の途中でありますが現在まで(平成十六年一月三十一日)の説明が行われ、これに本年三月三十一日までの収支を加算し、監事の監査を受けた後、総会で承認を得ることと致します。
(2)名簿委員会
現在、関東同窓会の登録会員数は二一四八名ですが内二一八名の方が住所不明となっております。不明者の一覧表を本日出席の学年幹事に配布致しましたので、住所不明者の減少にご協力願います。又会員に異動があった場合は判明次第、氏名にフリガナを付して頂き、卒業年次、郵便番号、新住所、出身地を正しく記載して事務局まで連絡願います。
(3)組織委員会
平成十五年十月の名簿委員よりの住所不明者一覧表に基づき、追跡調査依頼を三十八年以降の四十学年の学年幹事に行いましたが、回答を頂いたのは五学年のみでした。
学年幹事が転勤等で不在となつてくる学年及び未だ選任されていない学年は是非とも正副幹事を本人の了解を得て選任頂き、会の運営に積極的に参画頂きたい。同級会等で名簿を作成している学年は是非とも組織委員長が事務局まで送付頂きたい。
(4)広報委員会
広報紙「臥牛」への投稿をお待ち致しております。特に若い世代の皆様「クラス会情報」や「特別寄稿」等々、ご投稿を期待しております。尚、会員の計報については判明次第、事務局へご連絡願います。

総会と懇親会のご案内

乞ひご期待!

第十八回 関東同窓会

日時

平成十六年六月十二日(土)

受付 AM十一時開始

場所

ホテルセンチュリーハイアット (桃山の間)

●懇親会 ●懇親会 ●企画

当番幹事

第十五期(昭38年卒)
第二十五期(昭48年卒)

一、総会

・会務会計報告

・監査報告

・新年度の方針他

二、懇親会

当番幹事さん企画による余興他。

尚、会場は学年別に椅子席を準備。先輩後輩の交流にご期待下さい。

企画委員長
桑 島 輝 茂

同窓会本部の活動概況をお届けしてみました!!

大分県立竹田高等学校

平成15年 同窓会総会

平成15年11月16日(日曜)
ホテル岩城屋



Now
in
Taketa

平成15年 同窓会会務報告

大分県立竹田高等学校 同窓会事務局

◎総会及び懇親会次第内訳(進行係:島田克子)

- (1) 開会の挨拶
- (2) 校歌斉唱
(旧竹田中、高校、旧高女:器楽部伴奏)
- (3) 物故者へ黙祷
- (4) 会長挨拶
- (5) 校長挨拶
- (6) 諸報告
①会務報告 ②予算、決算報告
- (7) 祝電披露
- (8) 生徒発表
 - ・同窓会海外派遣事業:
ニュージーランド研修報告
研修生代表 2年
(薬師寺加代子さん 添田翔子さん
戸次美香さん)
 - ・吟詠発表
(大分県吟詠コンクール合吟の部最優秀賞)
(3年:後藤綾乃さん、山村曜子さん、
佐藤真紀さん)
 - ・器楽部演奏(大分県吹奏楽コンクール銀賞)
(指揮:三浦耕治先生)
- (9) 祝儀(式三番)
- (10) 祝宴
 - ①来賓祝辞
 - ②乾杯、会食、歓談
 - ③抽選会
 - ④「荒城の月」大合唱
 - ⑤万歳三唱
- (11) 閉会の挨拶

- 1月7日 同窓会臨時役員会
- 1月30日 田北和義前同窓会長叙勲受章祝賀会
- 2月21日 県庁臥牛会総会
- 3月3日 同窓会報第27号発行
- 3月3日 卒業式、会長より新会員(卒業生)へ記念品贈呈
- 6月30日 同窓会役員会
 - ・14年度事業報告、決算報告
 - ・15年度事業計画案、予算案
- 7月9日 同窓会支部長会
- 6月21日 関東支部総会
- 7月29日 同窓会海外派遣事業
~8月5日 ・ニュージーランド研修、2年生10名
(引率2名)
- 8月18日 同窓会臨時役員会
- 8月27日 同窓会支部長会
 - ・同窓会総会について審議
- 11月5日 同窓会総会事前打ち合わせ会議
- 11月11日 同窓会総会最終打ち合わせ会議
- 11月16日 同窓会総会

☆卒業年次ごとの同窓会(クラス会)は頻繁に行われましたが、割愛させていただきました。

☆各支部の総会等で、報告漏れがありましたらご容赦下さい。

☆「110周年記念行事」(平成19年)の準備を早急に始める必要があります。

平成十五年度竹田会 総会・懇親会 大盛會裡に開催

平成十五年十一月七日(金)
於 中野サンプラザ
田部 修士(昭和42年卒)



里見会長

平成15年11月7日中野サンプラザにて関東竹田会の総会・懇談会が盛大に開催された。志生野アナウンサーの司会で総会がスタート、竹田高校同窓会長としての活躍を惜しまれながら8月に急逝された土居平治さん初め物故者へのご冥福をお祈りし黙祷を行った。初めに、里見会長より、会員の皆様より何か心に残る催しを毎回スケジュールの中に入れて欲しいとの希望を受けて、パリトン歌手の山本健二さんをお招きしお願いしている由報告をされた。又、10月23日にテレビ放映された「竹田の元気なお年寄りの秘訣」について触れられ竹田市へメールを送られた。



大盛會の総会・懇親會場風景

観光協会会長が竹田市から上京された来賓の紹介をされた。工藤一成市議会議長、山口哲明氏、商店連合会・後藤眞志氏、竹田研究所・佐藤京子研究員。昔会長は、来週に迫った秋のイベント・竹楽について、「毎年竹楽の見学者は倍増しており、今年は20万人以上が予測され、歩行者順路も一方通行の規制を予定している。ボランティアも竹楽に参加していないと肩身が狭く感じる程盛り上がり、県下の各地から駆け付けています」と報告があった。後藤前市長からは、来年5月に迫っている廣瀬武夫百年忌祭の協賛のお願いがあった。

続いて、ゲストとしてお招きした山本健二さんが紹介され、今回欠席された阿南市長(山本さんとは助役時代からのお付き合い)からのメッセージを高橋助役から手渡された。山本健二さんは、昭和25年高校3年生の



山本健二さんと「荒城の月」合唱

秋に西日本声楽コンクールに出場、岡城の仮設ステージで独唱され古くから竹田との縁があり、また岡城が縁で司馬遼太郎とも交流をされていた由来など報告があった。司馬遼太郎の「明治と云う国家」によって、名曲「荒城の月」は明治維新後、廃藩置県の鎮魂の歌ではないだろうかとの理解が出来たとご説明があった。

山本さんのスピーチで会は盛り上がり、伊東七五三先生のご発声で一同乾杯、懇談会が始まり、竹田からの来賓、初参加の会員等々を取り囲んでの懇談、写真撮影の花が咲いた。

福引では、沢山の会員が竹田の自然薯、椎茸、竹田の名水で育った新米などをゲット、会は最高潮に達した。最後に司会者の氏名でゲストの山本健二さんが再び壇上、荒城の月の一節を独唱願ひ、続いて全員で4節までを合唱し会を締めくくった。

山口副会長の締めで来年の再開を期して会を閉じた。

平成15年度 関東同窓会 竹田会連絡会

田部 修士
(昭和42年卒)

平成15年11月7日(午後3時~5時)竹田会の総会に先だって、竹田市から上京された来賓(高橋助役、工藤議長、内川前市議、昔観光協会会長、後藤氏他)を交えて、竹田会・里見会長初め関東在住の竹高同窓会並びに竹田会の主だったメンバーが日本橋パーカービル・2Fの大会議室で連絡会を行った。

初参加となる工藤市議会議長に挨拶をお願い。来賓を代表して高橋助役より竹田市の近況報告を受けた。

①、今年6月の滝廉太郎没後百年コンサートを皮切りに11月14~16日の竹楽まで音楽のイベントが続いている。

②、市町村合併に関しては、新市建設計画の策定の中で市民の思いを反映させていきたい。

③、平成16年は市政50周年に当り、かつ、佐藤良美生誕100年、廣瀬中佐百年忌祭など大きな行事が予定されている。

昔観光協会会長より、14~16日の計画の竹楽について報告。今



郷土竹田市からのご来賓の皆さま

年の来場者は倍増の20万人が予定されており、歩行者一方通行の規制を行なって安全対策を行なう。ボランティアが大変積極的で、竹田市以外からも多く掛け付けている。参加者の希望を受けて、4時半にボランティアの竹灯籠点灯イベントがスタートする予定とのこと。

最後に、後藤福祉協議会会長より、廣瀬中佐百年忌祭に関して、人間廣瀬武夫を浮彫りにし郷土の伝統を長く伝えていくため盛大な行事にしたいとの報告があった。竹田会でも支援をお願いしたいとして決議の依頼があり、全会一致で趣旨に賛同が得られた。

燃える!!

クラス会・同期会

七耀会クラス会!

西 誠(昭30年卒)

昨秋、在京の「七耀会」(会の名はかつて川端康成を母校に招いた後藤是先生による命名ときく)は、一泊二日、場所は鬼怒川温泉郷の一角、会場となるホテルのチェックインの時刻に合わせた頃合いに現地集合と相成る。好天の当日、夕刻の現地到着では如何にも勿体ないので、私は、早朝に家を出て道草しながら現地へ向かった。

今市で乗り換えて日光へ向かう。輪王寺、東照宮、二荒山の三寺巡りをした。東武日光駅より徒歩でだらだらとのぼる商店街の途中左手に「食堂すゞき」がある。何の変哲もない大衆食堂だが、納得価格で美味なワインが味わえる。東京下町に住むイタリヤ女性エリザベス桐谷さんが新聞に寄せた随筆でそれを知った。商店街を更に上手へ行くとき日光市役所の向かい側に羊羹の鬼平屋がある。

竹皮に包まれた羊羹は、子供の頃に体験した昔懐かしい味わいであった。

会場のホテルは、六人づつの大部屋で先着隊がいる。数年振

りの友もいて、再会を喜び先ずは乾杯と酒盛りが始まる。まるで修学旅行に酒の持込みが許されたみたい状況である。私は

本番の宴会場に集まる前に出来上がってしまった。健康談義が幅をきかせる程の齢を重ねているが、飲酒後入浴するなどその行状は逆になるから不思議である。小部屋ならばこうはならないのにと、恨めしくもある。

当夜の幹事部屋は寝る間もないほど散らかってご迷惑様でした。



七耀会の一同

翌朝も好天に恵まれ、有志は上流の龍王峡を散策、紅葉には早かったが、その景観は、郷里大野川の上流の風物を拡大した様に思われた。

東武浅草駅への帰着が意外に早かったので、仲見世通りと平行する観音通りへ出た。すぐ左手の喫茶店へ入る。マスターの物腰がスマートである。終戦直後からの浅草の名物珈琲屋ハロ―であることを後で知った。友の飲むビールの小瓶がうまさうだった。

湯の町別府に響く竹高校歌!

—36年卒還暦記念同期会開催—

山村 伊吹(昭36年卒)

病のこと

思郷のこころ湧く日なり

目に青空の煙かなしも

啄木

子育てを終え、会社の定年を迎え、この地で老後を迎えるのかと思うと、妙に故郷が恋しくなる昨今です。竹田高校を出てから四十二年、同期の仲間達はどうしているだろうか、会ってみたいものだ、そんな気持ちにかられるのも、歳せいなのでしようか。

そんな思いは関東にいる私たちだけでなく、各地にいる同期の思いでもあったのでしよう。地元大分の竹高三十六年卒生が幹事となり、昨年十月十一日別府杉乃井ホテルで還暦記念同期

会(竹高36会「別府大会」)が盛大に開催されました。この日を楽しみに、全国各地から、遠くはドイツや米国から、約百十名の同期生が別府に駆けつけました。

大会は午後六時開催ですが、三時過ぎにはホテルへ続々と集まり、ロビーのあちこちで再会を喜ぶ話の輪が広がっていました。容貌はかなり変わっていましたが、一言しゃべれば、名前を思い出し、二言目には高校時代の話に弾む開場前のひとときでした。

当日は、開会挨拶、物故者黙祷、校歌斉唱、乾杯、と続く式次第でした。

♪暁早く そのかみの…

の校歌斉唱の時には、高校を出て四十数年たった感慨、試練を乗り越えて無事に還暦を迎えられた喜び、自他ともに健康で友達に会えた喜び等々、様々な思いがこもった大合唱になりました。

その後の余興タイムでは、大分市在住の有志が一年前から練習したという「鶴崎踊り」の優雅な踊りに見とれました。次いで一宮河内ひよつとこ保存会の「日向ひよつとこ踊り」になり、ひょうきんなお面とエロチックな踊りに会場は爆笑、また爆笑の渦でした。

さらにその夜は、二次会のカラオケ大会、三次会の飲酒放談会と続きました。宿泊の部屋で



は数年ぶりに会った旧友と朝まで語り明かす人も多かった。

翌十二日は小雨模様でしたが、別府扇山ゴルフ場でゴルフを楽しむコースと、観光バスで、湯布院↓水分峠↓瀬の本高原↓くじゅう花公園↓竹田↓別府と観光するコースに別れました。観光コースの参加者がほとんどでしたが、久しぶりに見る故郷の景色に見とれるバス旅行でした。

♪こころざしを はたして
いつの日には 帰らん
山はあおき ふるさと
水は清き ふるさと

ホテルの中で、バスの中で、たびたび合唱したのが、小学唱歌「故郷」でした。「こころざし」と言わないまでも、高校を出る時には私たちが夢や希望があり

ました。そして還暦を迎えた今、夢を達成した人、夢半ばの人、挫折した人と、様々です。然し、今はどうあれ、一緒に集まれば、一瞬にして高校時代に戻れる友達がいること、そして山紫水明の故郷があるということ。故郷を遠く離れた私たちにとっては、これらがなにもものにも代えがたい宝です。そして、その宝に接する貴重な機会を与えてくれた竹高36会「別府大会」の世話人のみなさんに、関東同期生は心から感謝しております。

竹高三八会(東京の巻)

“あの人に逢いたい”

続 勝三郎(昭38卒)

平成十五年十一月二十一日(土)午後三時続々と懐かしい顔づレが集ってくる、こゝ、上野の杜と不忍の池の間に位置する森鷗外ゆかりの邸、水月ホテル臨外荘。

東京では「たけのこ三八会」と銘打って毎年春は桜の宴、秋は会食と、旧交を温めている。四年前は竹田にて全国規模の竹高三八会を開催、一昨年は大阪にて、そしていよいよ今年も東京にて開催することになった。



竹田高校38年同窓会

便りと共に男性二十四名女性二十六名が上野に集結した。開宴までの間、旅の疲れをゆったりと温泉につかっていやしてもらった。開宴を待ちきれず、ある部屋では冷蔵庫を空っぽにし、すでに出来上がった猛者達。

いよいよ六時の開宴。まず記念写真を撮り、東京幹事の挨拶に続き、竹田代表、なにわ代表の挨拶。そしてホテル差入れのワインで一気乾杯。テーブルには彩りの京懐石料理、まずは一口、舌つづみ。竹田からの特製焼酎やかほすの差入れもあり盃はすすむ。五分も経たないうちに人の移動がゾロゾロ。“あの人”がいたのだろうか。あちこちのテーブルから元高校女生女の歓喜が飛びかう。

正面画面に、恩師の方々がプロジェクトで映し出され、近況のお便りがナレーションされる。そして七クラスの卒業写真が順次投影され同時にクラス毎に自己紹介、さすが四十年の歳月の重さを感じる。

画面は岡城壁、「荒城の月」を笛師の吹奏に続き、元音楽部の歌唱指導による大合唱。久住の山並を背景に、「坊がづる讃歌」を女学生がコーラス、思わず涙する男子がいた。そして「校歌」斉唱。最後は全員輪になり、肩を組み合せて「闘い勝てり」の大ストーム。あつという間の三時間が過ぎて宴は終わった。翌日十一月二十二日(日)、初冬の空気が身にしみる朝だった。午前九時ホテルをあとにして一行は上野公園を散策しながら浅草へ向った。雷門から仲見世通り、浅草寺へ、三八会一行の健康を祈願した。十二時いよいよ最終コース、浅草発の水バスで隅田川を下る。「小さな船旅」を。十二の橋をくぐりぬけ日の出棧橋へ向った。船上から眺めるドoramチックな景観。ゆつたりとした時が流れる、そんなやすらぎのひとときだった。

平成十六年秋、竹高三八会(祝、還暦)、竹田での再会を誓って別れを告げた。



維持会費の納入者の現況

貴方様の一層のご支援を特に期待しています。

1. 維持会員の現況(平成16年1月31日現在)

区分	15. 4. 1現在	16. 2. 1現在	増減	摘要	
会員数	397	425	+28	加入 43	辞退 15
口数	443	472	+29	増 45	減 16

2. 維持会費の未納整理の状況

区分	15.10. 1未納者数	15.10. 1未納金額	1.31迄納付者数	16. 1.31未納者数	16. 1.31未納金額	備考
3年分滞納	27名	420,000	7	20	315,000	
2年分滞納	25名	270,000	2	23	240,000	
1年分滞納	85名	425,000	21	64	320,000	
合計	137名	1,115,000	30	107	875,000	96名未納金額の前年同期は820千円

●維持会費のご負担のお礼とお願い
 *関東同窓会は、ご承知のとおり、維持会員の皆様の日頃からの、深いご理解とご協力に支えられて、同窓会の運営が安定的なありゆきを続けております。
 *未済となっておられる方々には、何かと出費ご多端の折かとも思いますが、ご負担についてのご協力方よろしくお願い申し上げます。

会員特別寄稿

「荒城の月」と

司馬遼太郎先生

バリトン歌手

山本 健二



平成元年の秋「明治という国家」という本のグラビアに大分・竹田の岡城趾を見て息をのみました。昭和二十五年の秋、そこは高校三年の私が始めて独唱をしたところでした。

岡城趾をイメージして作曲したと言われております滝廉太郎の「荒城の月」はその時より私の歌唱の原点となりました。しかしながら、なぜか長い間、四節全てを歌い切ることができず、第三節(今思いますが一番大事な歌詞のように思えますが)をカットして歌っておりました。

「明治という国家」は、そのような私にとって天恵でありました。

爾来、次のようなお話をして歌い、それによって四節全て歌えるようになった気がしております——歌唱の技巧は別にして、

私の心のありようとしてですが

「荒城の月」は日本歌曲の第一号といわれております。明治三十三年滝廉太郎二十二年の時の作品であります。

明治三十三年は西暦一九〇〇年に当ります。今日、世界において日本の歌といえますと「さくらさくら」と「荒城の月」が選ばれます。九六年たった今日においても日本のうたを代表する名曲であります。

この「荒城の月」につきまして司馬遼太郎さんは「明治という国家」という本の中で

明治四年の廃藩置県によって当時家族を含めると百九十万人の士族階級が一夜にして職を失い崩壊しました。

時の明治政府は士族の心の拠りどころであり、また象徴である城に彼等が立てこもって反抗されては、ということとで全国二百七十余藩の城を次々と取り壊していきました。

土井晩翠は仙台旧制二高の学生の時おとずれた、会津若松鶴ヶ城の荒廃に深い感慨を覚え、滝廉太郎は中学の頃よく遊んだ岡城に思いを馳せたといいいます。

荒城の月は二人の芸術家の想念がいまわって生んだ廃藩置県の挽歌、悼歌、鎮魂の歌ではないかと書かれています。

封建社会の幕藩体制から近代国家としての日本が生まれ変わろうとする節目の時に礎となつた人々への鎮魂の歌として歌います。

声楽界において、未だかつて誰一人として思い至らざる深い洞察でありました。これにより「荒城の月」は歌唱の魂が導入されたといえましよう。長い間の霧にひとすじの透明な光が差し込まれていく思いをいたしました。

司馬先生への深い感謝の気持ちを宇都宮の小西菊枝様にお伝えしましたところ、奥様と親しくしておられたことからカセットテープを聞いて下さりお手紙を頂いたものです。

新しいCDをリリースする度にお送りしますとお葉書を頂き私の歌唱の大きな支えとなっていました。

今日の「荒城の月」は先生への悼歌として歌いたいと思えます。先生がよく書かれています。高き明治の透きとおった、格調の高い精神でささえられたリアリズムと大正のロマンティズムを心に持って歌っていきたく願っております。



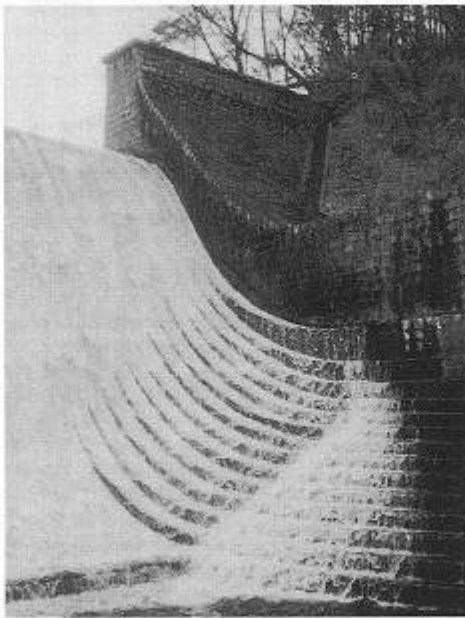
今年度総会のゲスト出演予定者 ヴォーカリスト「西みほ」さんの横顔

●西 みほ ~ソプラノ、ヴォーカル~
大分県竹田市出身(竹高 昭55年卒)
武蔵野音楽大学声楽科卒業 同大学院修了。
第30回西日本出身新人演奏会オーディションに合格。
同演奏会に出演。

- 1985年 「童謡の日」記念コンサートでデビュー。(ポニージャックスらと共演) 湯山昭氏率いる「コーラス愛」のソリストを務める。
- 1992年 名古屋市民会館、NHK名古屋主催「第14回新進演奏家紹介コンサートオーディション」声楽部門にて最優秀賞受賞。同演奏会に出演。2000年 西みほ&ザ・リリック「シネマヌーヴォーコンサート」開催。ジャズとクラシックをミックスしたサウンドを創る。
- 2001年 名古屋フィルハーモニー管弦楽団のメンバーと共に音楽物語「ザ・サウンド・オブ・ミュージック」にソロ出演。
- 2002年 名古屋フィルハーモニー管弦楽団のメンバーと共にJRSカリストリートコンサートNO.8に出演。~バレエ音楽「兵士の物語」のナレーションとして一人5役の難役を演じる。通常男性が演じる作品を女性が演じる事は非常に珍しく好評を博す。
- 2002年 西みほソプラノリサイタル~日本歌曲の世界~開催。名古屋市民芸術祭参加公演に認定される。
- 1999年より大聖堂の挙式にてソプラノソロをレギュラーで務める。
- 光信捷彦、デジレ・リゲティ、イエノ・シボス、湯山昭の各氏に師事。
- 各種コンサート、ディナーショー等にソリストとして多数出演。
- NHK名古屋制作「さらさらサラダ」三重テレビ「おしえて三重奏」中京テレビ「クスクス」に出演等、メディアでも活躍中。
- クラシックのみならずミュージカル、スタンダード、ポピュラーまで幅広いレパートリーを持ちおしゃべりを交えたステージと透明な声は多くのファンを魅了している。ジャズのメンバーとのライブもファン層が広がっている。ジャズギタリスト「岡安芳明」ジャズピアニスト「吉岡秀明」とも共演。
- 現在、ヤマハミュージック名古屋西店オリジナルヴォーカル講師としてヴォーカル、コーラスを指導。
- 又自宅にて音楽教室「ハウスムジック」主宰。ピアノ、声楽、ソルフェージュを指導。

ふるさと名所紀行

～白水ダム～(下)



左岸堰堤

H15. 9. 18 朝日新聞夕刊(窓)

「美しいダム(白水ダム)」から

(あふれた水が堰堤の切石にはじかれ、白いレース状の流紋を描く。右岸の擁壁は地形に合わせてしなやかに曲げられ水が弾むように流れ落ちていく。)

左岸は、西洋の宮殿の中にあるような「階段」風である。流れる水がまるで階段に白いレースの生地を掛けたかのように見える。このダムは、これら三様の流れが見事に調和している。このような堰堤の形の工夫は、いずれもこの地点の地質と水流を考え、地盤の弱さを補うために、すべての水が激しい勢いで落下しないように速さを調節するためのものであるようだ。地盤の弱さを補うためには、基礎を深く打ち込んだり堰堤を



設計者 小野 安夫氏

極めて強固にする方法もある。しかし、堰堤の形を自然な形で水圧を受け流す様に、しかも敢えて石積み風にした上に、左右非対称というような非常に手の込んだ設計に取ってつけたのは九重町出身の小野安夫技師である。ダム本体の造形美とそこを流れる水の美しさから、後にダムの芸術とまで呼ばれるようになったのは、このように設計者の抜群の造形感覚と、緻密な計算に基づく合理性の追求の結果であろう。

白水溜池工事は昭和十三年(一九三八)三月、長年の苦勞が実り、ようやく終了した。それまでは人煙まなげ山奥の溪流に過ぎなかつた場所に人工の湖ができたのである。それは遙か下流の広大な台地を潤し、そこに暮らす数千の農民の生命を支える湖だった。堤長八七・三m、堤高一三・九m、堤頂幅二・七m、貯水量



築造前の白水ダム付近

約六〇〇、〇〇〇立方メートル、満水面積〇・一km²、流域面積九六・四km²、建設費二二万円(当時)約七年の歳月をかけてようやく白水ダムは完成した。これにより、すでに大野郡小富士村、緒方村の三一〇町歩あまりを灌漑してきた富士緒井路はさらに多くの水田を十分に潤すことができるようになった。そして、平成十一年(一九九九)

昭和の農業近代化遺産としては大分県初の国指定重要文化財になった。それは「明治以降の建造物で近代化遺産にふさわしい現役の水利用施設である」「石張りの堤面及び左右の袖部の造形が特殊で、流れ落ちる幾何学的水流美が評価された」「地質不良の阿蘇溶岩地帯に築造された粗石コンクリートダムである」ことなどが評価されたためである。

掲示板

●平成十四年秋の叙勲

勲四等端宝賞

広瀬 良博 (昭19年卒)

経歴

元大分県立碩信高校校長

同窓生一同、心からお祝いお慶びを申し上げます。

訃報

慎んでお知らせ申し上げます、心から冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

安東 伸介様 (昭26年卒)

平成14年4月21日 没

和田 義幸様 (昭27年卒)

平成15年12月3日 没

佐藤 興文様 (昭26年卒)

平成15年12月26日 没

飯倉 一郎様 (昭25年卒)

平成15年12月30日 没

伊東 祐嗣様 (昭25年卒)

平成16年1月29日 没

※何らかの方法により、事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。

会員の皆様へお知らせ!!

第十八回 関東同窓会

ご案内

日時

平成十六年六月十二日(土)

受付 AM十一時開始

場所

ホテルセンチュリーハイアット

(桃山の間)

●当番幹事

第十五期 (昭38年卒)

第二十五期 (昭48年卒)

△——△——

●今年度総会

「西みほ」さんの

ゲスト出演を予定

(竹高昭55年卒)

ソプラノ、ヴォーカル

武蔵野音楽大学声楽科卒業

同大学院修了。

大分県竹田市出身

◎竹田会

●平成16年11月5日(金)予定

PM 6時

●中野サンプラザ14F

銀河の間

今年度は、広瀬中佐の一〇〇年忌祭で地元竹田市も音楽祭の計画が続いていますが、竹田会でも昨年に続いて昭和25年に岡城で独唱されたバリトン歌手の山本健二さんにご出席頂く予定です。

◎竹楽

●平成16年11月19日(金)

11月21日(日)

●地元竹田市にて

盛大に開催

地元竹田市では、11月14日(金)から16日(日)まで3日間仄かな明かりが城下町を包むイベントが開催されます。15日の中日は午後6時より、古琴の奏者・伍芳さんを招き、「瀧廉太郎を偲ぶ街角コンサート」が武家屋敷通りの特設会場で予定されています。

入場は無料。

詩歌・文芸

帰郷

石原 田鶴子

(昭14年卒)

空港に降りれば人のざわめきの
中に聞こゆる肥後の訛が

朝冷えの東京を発てど故郷は上
着ぬぎたき暖かさの中

麥秋の蕾のひろがれる阿蘇盆地
との曇りの中五岳は見えず

六姉妹のバスの旅なる延岡で食
みし小さき小女子うまし

綾城のほとりに掛る吊橋で姉弟
で飛ばせし紙飛行機よ

谷よりの霧と上昇気流に乗りて
山越えて行きし我が紙飛行機は



みどりの日

あとがき

●会員の皆様の強いご要望に従い、会報臥牛の発行を今後は従来通りの年2回(5、11月)の予定と致しました。皆様様の格段のご支援を期待致しております。

●お詫び

広報委員一同編集については十分留意万全な対応を行っていますが、掲示板にて広瀬先生のご紹介が遅くなりました。深くお詫び申し上げます。上記の通り掲載致しました。

※「投稿」をお待ちしています。

若い世代の皆様様の「クラス会情報」や「特別寄稿」等々、ご投稿を特に期待しお待ちしております。

委員一同

・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

〒102-0083
東京都千代田区麹町一丁目八番地 JFNセンター八階
(株)エフエム大分東京支社

佐藤 毅士 宛

(広報委員長)

TEL 03-3239-7281
FAX 03-3239-7280